

るための人材が必要と考えるが。
A 山本教育長

「コミュニティスクールを導入している自治体では、コーディネーターを配置して事業展開を図っているところもあることから、学校運営協議会で審議いただきながら、必要となれば人員の配置について町長と協議していきいたいと考えている。」

A 宮口町長

教育は、教育現場の教職員、PTA、教育委員会が十分話し合いながら地域に応じた教育を進めるべきであり、地域の方は登下校時の安心・安全を見守る程度にとどめるべきではないかと考えている。

Q 本町の福祉施策では、高齢者を巡回して話を聞くなどする職員を配置している。学校教育においても同じように、学校・地域・家庭の悩み相談等への対応やそれらを結ぶ連絡調整役となる人材が必要と考えるが。

A 宮口町長

議員の意見も参考に、検討していきたい。

「コミュニティスクールとは、学校運営を教職員だけでなく保護者や地域住民等と一体と

なっており、地域とともにある学校づくりを進める制度。



豊頃小学校の授業風景



小笠原茂人議員

洪水対策を踏まえた豊頃中学校建て替えは

Q 豊頃中学校は、老朽化に伴い校舎建て替えの検討が進んでいる。建設予定場所は、洪水ハザードマップ上では十勝川氾濫時の洪水浸水地域となっている。学校のある中央区は、これまで洪水被害の歴史が続いてきたことから、洪水対策の観点から見た校舎建設

Q 豊頃中学校は、老朽化に伴い校舎建て替えの検討が進んでいる。建設予定場所は、洪水ハザードマップ上では十勝川氾濫時の洪水浸水地域となっている。学校のある中央区は、これまで洪水被害の歴史が続いてきたことから、洪水対策の観点から見た校舎建設

の考え方は。
A 宮口町長
豊頃中学校の校舎等は、豊頃小学校の敷地に建てる考えで進めている。
ハザードマップでは、洪水浸水地域となっているが、十勝川は、しっかりと堤防が整備されており安全安心である。また、水害はある程度時間が予測できるため、子どもたちを避難させる等の対応は可能と考えている。

Q 平成28年に起きた記録的大雨による避難した経験や、毎年国内で発生する自然災害を見ると、あの場所を文教ゾーンとしてよいものなのかと思う。抜本的に見直して再検討する考えはないか。
A 宮口町長
小・中学校の教育は、小中一貫教育を目指す方向で検討しており、校舎が別々の場所にあることは不便である。コミュニティスクール制度のように地域に見守られながら学校を運営するという考え方もある。

また、学校のある中央区は住宅地が広がっており、水害の発生する可能性があるから学校は建設できないということになれば、公営住宅等の建設もできないというこ

委員会レポート①

1 調査の経過と結果

(1)各学校の状況(10月1日現在)

①大津小学校

普通学級2(複式)の児童数6人、教職員数3人である。校舎は、昭和53年12月に完成し、建築後41年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館天井改修・屋根塗装改修・ステージ幕更新」、「消防用設備修繕」、「プールろ過器・排水設備改修」、「駐車場舗装改修」などを実施している。

②豊頃小学校

普通学級6、特別支援学級5の児童数111人、教職員数19人である。校舎は、平成3年3



大津小学校で学校の運営状況を調査

10月29日、総務文教常任委員会(小笠原茂人委員長)は、「町内小・中学校の教育環境の整備状況」について、教育環境の充実の観点から、各学校施設及び教育教材等の整備状況を調査しました。

月に完成し、建築後28年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「図工準備室改修」、「加圧給水ポンプ交換」、「コンピュータ室改修」、「児童用トイレ改修」、「校舎内照明器具交換」などを実施している。

③豊頃中学校

普通学級3、特別支援学級3の生徒数64人、教職員数18人である。校舎は、昭和49年12月に完成し、建築後45年が経過している。最近5年間に於ける主な整備状況は、「体育館水飲み場設置」、「防風林造成」、「加圧給水ポンプ交換」、「校舎内照明器具交換」、「防火防炎設備修繕」、「駐車場舗装改修」、「生徒用トイレ改修」、「校舎前側溝補修」などを実施している。

2 まとめ

本調査では、各学校が特色ある学校経営を展開し、教職員が苦勞しながら児童・生徒の教育活動を進めていることが確認でき、今後更なる教育の充実が期待される。学校施設及び教育教材等の整備では、教育委員会が各学校の状況



豊頃中学校の授業を視察

十勝町村議会議員研修会

とかチカラ未来へ

10月28日、足寄町民センターにおいて、十勝町村議会議員研修会が開催され、十勝管内の町村議会議員が参加しました。

研修会では、北海道十勝総合振興局長の三井真氏が「とかチカラ未来へ」と題した講演が行われました。

講演では、十勝総合振興局が進める「攻めの福祉」と「女性の流出対策」の事業を紹介しました。十勝の開拓者魂を忘れず自らの手で現実を切り拓くため行動し、新しい人材を育てる取り組みを学び、本町のまちづくりの参考となる機会となりました。



議員研修会講師の三井真氏



豊頃中学校の建て替えが計画されている豊頃小学校グラウンド

第1回臨時会(1月17日)

令和元年度一般会計補正予算(第6号)

除雪費など、2591万円を追加し、予算総額を47億9624万円とする補正。原案のとおり可決。

となる。学校を高台に整備するにしても、建設可能な面積のある場所は見当たらない。
私は、あの場所に建設することが適切だと考えており、その上で水害対策についてさらに検討しながら、子どもたちや住民が安心して暮らせる地域づくりを進めていきたいと考えている。